

# 地域年金展開事業【京都府】

令和8年2月

京都南年金事務所  
(京都府代表事務所)



日本年金機構

Japan Pension Service

# 目次

1. 地域年金展開事業の概要 3～6 P
2. 令和7年度事業実施中間報告 7～18 P
3. 令和8年度 取組方針・事業計画（案） 19～22 P

# 地域年金展開事業の概要：地域年金展開事業のイメージ図

## 日本年金機構 / 情報の提供側

### 本部 広報室

・各事業部で策定した広報計画を取りまとめ、全体の広報実施計画を策定、進捗管理

連携

### 本部 各事業部

・各事業部において、年度の取組計画及び広報計画の策定、実施

連携・共有

連携・共有

### 事業推進統括部 管理・市区町村調整G

・各事業部及び広報室との連携・共有、情報の確認  
 ・関係機関との連携・共有、効果的な情報提供  
 ・地域代表年金事務所との連携、連絡調整の依頼  
 ・年金事務所への情報の提供、取組の指示発信  
 ・年金委員への情報の提供、活動の協力依頼

連携・報告

### 地域代表年金事務所

・本部との連携、連絡調整  
 ・年金事務所への助言、取組状況の把握、報告

情報提供 相談  
取組指示 報告

連携・報告

### 年金事務所

・地域年金展開事業の実施  
 ・年金委員、地域年金推進員への研修、情報提供、活動の要請

### 年金委員

連携・共有

## 連携・共有する機関

### 厚生労働省 ⑤

・年金局  
 ・職業安定局  
 ・保険局  
 ・社会・援護局  
 ・地方厚生(支)局

## 各事業部の取組

- ・未適用事業所にかかる取組
- ・被保険者の適用にかかる調査
- ・納付督促、免除勧奨にかかる取組
- ・年金給付にかかる取組
- ：
- 等

各事業部の策定

## 地域年金展開事業

～公的年金制度の周知～

- ① ポスター、チラシ、リーフレット等の配布
- ② 年金制度説明会の実施
- ③ 年金セミナーの実施
- ④ 出張年金相談
- ⑤ 地域年金事業運営調整会議
- ⑥ 「ねんきん月間」、「年金の日」における各種取組
- ⑦ 「わたしと年金」エッセイ

地域年金展開事業の策定

協力・連携

## 地域のネットワーク / 協力・連携する機関

### 地域 ⑤

・地域のコミュニティ(自治会・町内会)  
 ・地元企業  
 ・教育機関(大学・高校・専門学校)  
 ・商業施設・商工会  
 ・地方自治体

### 関係機関/団体 ⑤

・全国年金受給者団体連合会  
 ・全国社会保険協会連合会  
 ・全国社会保険委員会連合会  
 ・社会保険労務士会  
 ・社会福祉協議会  
 ・全国健康保険協会/各健康保険組合  
 ・国民年金基金

## 情報の受手側

### 学生

取組：①③⑥⑦

### 国民年金の被保険者

取組：①②③  
④⑥⑦

### 厚生年金保険の被保険者

取組：①②④  
⑥⑦

### 事業主

取組：①②④  
⑥⑦

### 年金受給者

取組：①②④  
⑥⑦

各事業部の実施

年金制度の周知・啓発

# 地域年金展開事業の概要：主な取り組み

公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料納付率の向上等のため、関係機関との連携協力のもと『年金制度説明会』や『年金セミナー』等を実施する。

また、日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる『地域年金事業運営調整会議』を開催し、事業推進の意見や助言を伺う。

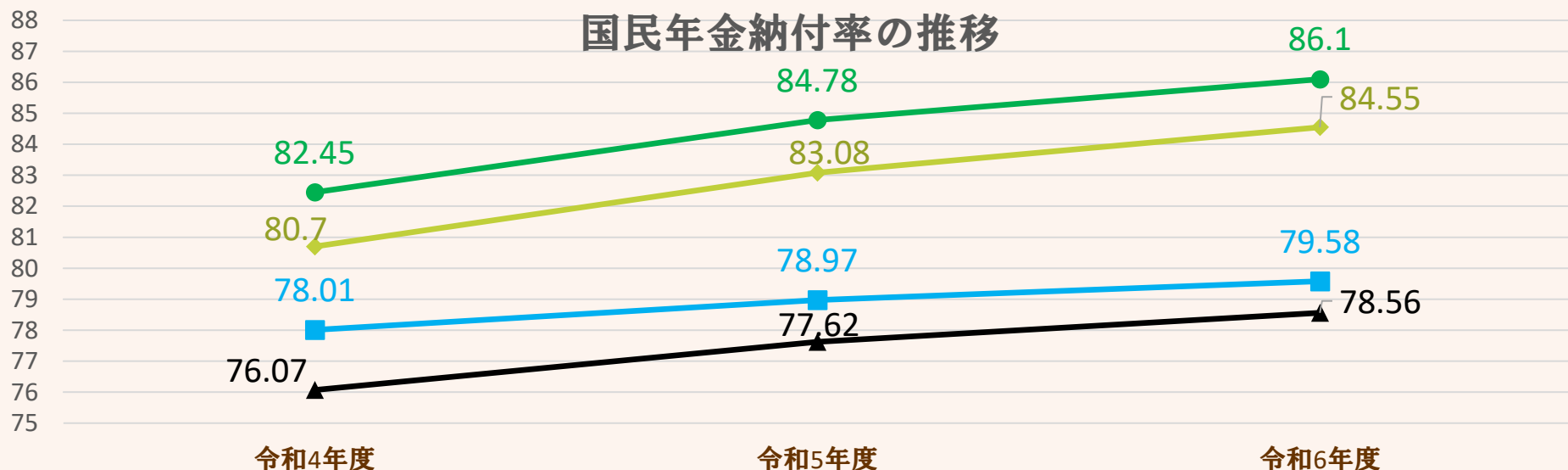
事業	概要	主な取り組み
地域連携事業	自治体・企業・関係団体等と連携し、地域住民の皆様には正しい年金制度の知識や手続き、また年金制度説明会の開催やイベント会場において広く住民の皆様には年金制度を周知するための活動。	<ul style="list-style-type: none"><li>・リーフレット等の配布</li><li>・年金制度説明会の開催</li><li>・「ねんきん月間」、「年金の日」の取組</li></ul>
年金セミナー事業	学生・生徒等の若い世代が、年金制度の正しい知識や手続きに触れ、公的年金制度が身近で重要なものであることを理解いただくための活動。	<ul style="list-style-type: none"><li>・年金セミナーの開催</li><li>・年金推進員の活動支援</li><li>・年金セミナー講師の育成</li></ul>
地域相談事業	年金事務所から遠方の地域住民の利便性の向上を図るため、市区町村の公共施設等において出張年金相談や国民年金保険料納付相談窓口を開設する。	<ul style="list-style-type: none"><li>・出張年金相談の開催</li><li>・国民年金保険料納付相談会の開催</li></ul>
年金委員活動支援事業	職域型年金委員、地域型年金委員の活動を支援するため、研修会の開催や情報誌・リーフレット等を提供する活動。	<ul style="list-style-type: none"><li>・年金委員の委嘱拡大</li><li>・情報誌の発行</li><li>・年金委員研修会の実施</li><li>・年金委員功労者表彰式の開催</li></ul>
地域年金事業運営調整会議	公的年金制度の普及・啓発活動や年金事務所が行う事業への意見・助言を行うため、学識経験者や関係機関等を委員として都道府県単位に設置する。	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域年金事業運営調整会議の開催</li></ul>

# 地域年金展開事業の概要：京都府における国民年金事業の状況

## 【国民年金保険料納付率の推移】

国民年金保険料の納付率は、国民の皆様への年金制度に対する信頼のバロメーターと言われており、地域年金展開事業における公的年金制度の普及・啓発活動の取組は、年金事業の安定的な運営に大きな影響を与えている。

全国の国民年金納付率は、現年度納付率が令和6年度に至るまで13年連続で上昇を続けており、最終納付率は、令和6年度において令和4年度分の国民年金保険料が84.55%となっている。



▲ 全国現年度納付率    ■ 京都府現年度納付率    ◆ 全国最終納付率    ● 京都府最終納付率

	全国現年度納付率	京都府現年度納付率	全国最終納付率	京都府最終納付率
令和4年度	76.07%	78.01%	80.70%	82.45%
令和5年度	77.62%	78.97%	83.08%	84.78%
令和6年度	78.56%	79.58%	84.55%	86.10%

# 地域年金展開事業の概要：昨年度実施した地域年金事業運営調整会議の振り返り

## 取組内容

### ○ 第12回 京都府地域年金事業運営調整会議の開催

#### 【開催日時・場所】

令和7年2月27日（木）14時～16時 京都商工会議所会議室 7階C・D会議室

#### 【議 事】

- ・ 地域年金展開事業の概要
- ・ 令和6年度「地域年金展開事業」事業実施中間報告
- ・ 令和7年度取組方針と事業計画（案）

#### 【総括】

年金セミナーの対象層が小学生、中学生と広がっており、多様なニーズに応じた取り組みができています。

項目	第12回地域年金事業運営調整会議でいただいたご意見・ご質問等（抜粋）
年金セミナー・ 制度説明会に関して	<p>外国籍の方々には、昔は大都市に集中していたところもありますが、今は郡部、市町村でもおられるところにはおられるという印象ですので、年金のセミナーを行うにあたっては、京都市のみで行うのではなく、市町村でも行っていただく等の配慮が必要なのかなと思いました。</p> <p>中学3年生の教科書では、公的年金の仕組みが詳しく掲載されており、年金教育がクローズアップされています。社会保険労務士の先生と中学校の教員がコラボして授業を展開している学校もあります。今回、小中学生向けに年金セミナーを行っていただいていたことありがとうございます。</p> <p>京都府、京都市、宇治市の教育委員会に対しては、事前に年金事務所からセミナーの依頼をしているとのことですが、他の市町村の教育委員会にも一言依頼いただくと、現場での見る目が変わると思いますので、検討をお願いします。</p>
「わたしと年金」の エッセイに関して	<p>税務署では、ボールペンとかシャープペンシルとか色々景品をお配りされているようなこともあった。機構もエッセイ募集で景品を配ることで、応募者が増えるのではないかなと思う。</p> <p>学校では1人1台のPCを持つ子供が増えてきている。原稿用紙での応募だけでなく、電子による応募も検討してはどうか。</p>
オンラインビジネス に関して	<p>税務署と共同で、オンラインによる案内をしていることは、効果的だと思います。また、年金の裁定請求であるとか、年金受給者の方の届出関係のネット申請もできるということで、私自身もたいへん助かります。</p>

# 令和7年度 事業実施中間報告

## 【地域連携事業】

- ◆職員が自治体、事業所、関係団体等へ赴き、事務担当者や従業員向けの年金制度説明会を実施する。
- ◆市区町村等が発行する広報誌への記事掲載やポスター・リーフレット等の設置依頼、また、11月の「ねんきん月間」や11月30日の「年金の日」において、大規模商業施設を活用して、年金制度や日本年金機構の事業の周知・広報活動を行う。

### 地域連携事業の取組内容①

「ねんきんネット」は、スマートフォン等からご自身の年金情報を手軽に確認できるサービスです。



マイナポータルとの連携で「ねんきんネット」はもっと便利！

「ねんきんネット」を使って以下のことができます



マイナポータルとの連携で以下の機能が利用できます

01 国民年金保険料 口座振替の申出	02 扶養親族等申告書の 電子申請	03 確定申告・ 年末調整に必要な 書類の電子送付	04 ねんきん定期便 情報の確認
--------------------------	-------------------------	------------------------------------	------------------------

「年金の日」とは

厚生労働省では、「国民お一人お一人、「ねんきんネット」等を活用しながら、高齢期の生活設計に思いを巡らしていただく日」として、11月30日（いいみらい）を「年金の日」としました。



年金制度周知広報に加え、日本年金機構事業の重点項目である「ねんきんネット」・各種届書の電子申請・各種情報の電子送付等のオンラインビジネスサービスの利用促進に係る周知・広報活動を積極的に展開した結果、ねんきんネット利用者が令和7年9月末現在で約1,450万人となった（令和7年3月末は約1,350万人）。

### ○ 広報誌への記事掲載、リーフレットの設置依頼

#### 【市区町村】

- ・職員向け情報誌「かけはし」を配付。（奇数月）

#### 【ハローワーク】

- ・オンラインサービスのリーフレットの設置を依頼

#### 【社会保険協会】

- ・広報誌「社会保険きょうと」へ記事掲載。（偶数月）

#### 【京都府内の商工会議所・商工会】

- ・オンラインサービスに関して、HPページへの記事掲載やリーフレットの設置を依頼。また、商工会の会議室に会員を集めていただき、ねんきんネット、電子申請のセミナーを実施した。

#### 【郵便局】

- ・京都府内全414局の局員に対して、オンラインによる年金スキルアップ研修と併せて、ねんきんネットの利用促進をお願いした。

## 地域連携事業の取組内容②

### ○年金制度説明会・研修会の開催

【20歳到達者】

実施回数：計28回（158人）

【行政機関、関係機関・関係団体、事業所等】

実施回数：計68回（2,632人）

（主なテーマ）国民年金制度、厚生年金制度、年金制度改正、オンラインサービスなど

《年金制度説明会等の実施状況》（令和7年4月～12月）

実施回数と人数	20歳到達者	行政機関・関係機関・関係団体・事業所等
令和5年度（回数/人数）	23回/170人	53回/1,749人
令和6年度（回数/人数）	35回/203人	66回/1,569人
令和7年度（回数/人数）	28回/158人	70回/2,658人

【総括】

- ・令和7年度の社会保険制度説明会は、京都労働局・全国健康保険協会京都支部と共催し、参集により6月に10会場で開催した。事業所に対する制度周知により、届出の適正化を図ることが重要であることから、次年度も実施予定。
  - ・郵便局向けの年金制度説明会を414局の職員に対してZoomで実施。増加する年金請求に関して、郵便局で年金の相談を受ける時の基本的な事項と注意点を説明することで、お客様が年金事務所に質問する手間の解消を図るなど、お客様の利便性の向上につなげていく。
  - ・増加傾向にある外国人の国民年金保険料未納対策として、京都府国際センター、京都市国際交流協会にアプローチし、外国人と直接接する担当者向けに国民年金の制度説明会を実施。
- また、京都市国際交流協会より「外国人のためのカウンセリング・デイ」の9月20日(土)と12/21(日)に招待を受け、国民年金にかかるリーフレットを配布。現地に来ていた京都外国語大学の教授と意見交換し、大学での授業に「年金」を取り入れることを検討いただくことになった。今後も外国人への制度周知を進めていきたい。

## 地域連携事業の取組内容③

### ○ 税務署確定申告会場への職員の派遣

(実施の背景)

2月中旬から3月中旬にかけて京都市内の税務署（上京・左京・中京・下京・右京の5税務署）では、合同の確定申告会場を設け、会場内でマイナンバーカードを使ったe-Tax（スマホ）申告を推奨している。

税務署では、マイナポータル連携により「公的年金等の源泉徴収票」や「社会保険料控除証明書」のデータが取得可能となったため、e-Taxで（スマホ）申告すれば、紙の添付は不要とされた。

一方、日本年金機構では、ねんきんネットから、「公的年金等の源泉徴収票」や「社会保険料控除証明書」の金額確認やe-Tax対応の通知書データを受け取ることが可能となっている。

年金事務所では、例年確定申告の時期に、紙の「公的年金等の源泉徴収票」や「社会保険料控除証明書」の再交付申請が増えているが、スマホ申告が増えることにより、オンライン化が進み、再交付事務が減少することから、令和6年度より税務署と協力し、合同確定申告会場において、スマホとマイナンバーカードによるねんきんネットへの接続と操作方法を案内し、申告者の皆様にねんきんネットサービスの推進を図ることとした。

(実施内容)

#### ・京都市内

令和8年2月16日～3月16日までの申告期間と2月上旬のプレ実施期間（3日間）において、合同確定申告会場（西陣織会館）で実施。令和7年度は、令和6年度と同様に6ブースを設置。

スマホとマイナンバーカードによるねんきんネットへの接続方法や、「公的年金等の源泉徴収票」、「社会保険料控除証明書」の金額確認方法、ねんきんネットサービスについて、個別に案内する。

京都市内の年金事務所職員から、延べ115名を派遣する予定。

#### ・京都府北部地域

令和8年2月16日～3月6日までの計11日間において、舞鶴税務署、福知山税務署、宮津税務署、峰山税務署の確定申告会場で実施。

スマホとマイナンバーカードによるねんきんネットへの接続方法や、「公的年金等の源泉徴収票」、「社会保険料控除証明書」の金額確認方法、ねんきんネットサービスについて、個別に案内する。

舞鶴年金事務所職員から、延べ44名を派遣する予定。



**公的年金等の源泉徴収票を  
マイナポータルで受け取れます！**

確定申告で使う源泉徴収票は、ねんきんネットでも電子送付の希望登録をすると、

- ・郵送より早く、マイナポータル上で電子データを受け取れます
- ・受け取った電子データを利用してe-Taxでの確定申告が簡単に行えます
- ・一度登録すれば、毎年電子データが届きます

この機会にぜひご登録ください。

**マイナポータルからねんきんネットにログイン**

- ①マイナポータルにログイン
- ②マイナポータルトップ画面の「年金」を選択
- ③「通知書のペーパーレス化」を選択

⇒ねんきんネットに自動でログインします。

**ねんきんネットで電子送付希望の登録**

「電子送付の希望の登録/変更」画面で、「公的年金等の源泉徴収票」欄の「電子送付する」を選択してください。

**マイナポータルで電子データの受け取り**

12月中旬から1月上旬にかけて、当年分の源泉徴収票の電子データがマイナポータルの「お知らせ」が届きます。

**e-Taxでの確定申告に利用**

国税庁のホームページから「確定申告書等作成コーナー」を開き、e-Taxでの確定申告を行ってください。マイナポータル連携を利用して、源泉徴収票の内容を簡単に取り込み、確定申告書に自動入力されます。

電子送付の登録方法等の詳細は、日本年金機構のホームページをご覧ください。

ねんきんネット 源泉徴収票 電子送付 検索

[https://www.nenkin.go.jp/tokuseisu/denshisofu\\_kojin.html](https://www.nenkin.go.jp/tokuseisu/denshisofu_kojin.html)

日本年金機構  
Japan Pension Service

## 地域連携事業の取組内容④

### ○「わたしと年金」エッセイの募集

公的年金制度との関わりなど「わたしと年金」をテーマにしたエッセイについて、以下の関係機関への協力依頼を行った。

- ・ 京都府教育委員会・京都市教育委員会・宇治市教育委員会・京都府文化生活部・京都府立(公立)高等学校長会・京都府私立中学高等学校連合会
- ・ 教育機関(中学・高校・大学・専門学校)……約500校(文書)

令和7年度は、

京都西年金事務所…令和6年度の実績を踏まえ、京都聖カタリナ高等学校に直接アプローチした結果、38名の応募有。

京都南年金事務所…年金セミナー開催案内を送付する時に合わせて、エッセイ募集のお知らせ文書を作成し、受賞者は厚労省で表彰される旨、また、受賞作品がアニメーション化される可能性がある等のお知らせをした結果、菟道高校から連絡があり、7名の応募有。

【京都府における応募件数】(括弧内は全国のお応募件数)

	一般	学生	計
令和5年度	1名 (80人)	2名 (1,529人)	3名 (1,609人)
令和6年度	0名 (67人)	8名 (1,422人)	8名 (1,489人)
令和7年度	3名 (113人)	46名 (1,874人)	49名 (1,987人)

※ 令和6年度の学生8名は、京都聖カタリナ高等学校の生徒です。

※ 令和5年度の学生2名は、京都教育大学付属桃山中学校の生徒です。

### 【総括】

令和7年度は、3校から46名の応募があり、着実に増加している。

### 【課題】

応募者は年々増えているので、令和8年度も教育機関をターゲットとして、教師のみなさまに年金の大切さを理解いただき、エッセイの取組を認知いただけるようなアプローチをしていく必要がある。

また、関係機関・関係団体に対するアプローチも実施したうえで、引き続き応募数の増加を図りたい。

「わたしと年金」エッセイ募集

世代を超える。今だからこそ、伝えたい。

募集期間  
令和7年6月2日(月)～  
令和7年9月30日(月)消印有効

応募資格  
1. 約を念のため、応募書と併せて募集要約の印刷物を郵送でお送りください。応募書についてのお問い合わせ先は、5月31日現在で募集要約に記載のメールアドレスです。日本版では、030-2-20000で可能です。

応募作品の趣旨、内容、ふりがな、住所、電話番号、連絡先は詳細(学校名、学校番号)を明記してください。

印刷は応募者本人が行ったもので、本賞賞状のみに限ります。(印刷費用は応募者負担)

賞状  
受賞作品は日本年金機構ホームページに学生有権者(18歳以上)と学生無権者(18歳未満)の別で掲載し、厚労省への表彰も併せて行われます。受賞作品の著作権は日本年金機構に帰属します。受賞者の匿名、住所、住所の記載を明記を禁止します。

お問い合わせ先  
日本年金機構 事業推進部総務管理・広報課総務グループ 「わたしと年金」(担当番号) 03-5244-1100 (内線)

主催 日本年金機構

協賛 厚生労働省

協賛 文部科学省

協賛 全国高等学校長会

協賛 全国高等学校教育者協議会

### 【受賞作品のアニメーション動画】の案内

#### 令和6年度厚生労働大臣賞 受賞作品

あらすじ

子供が生まれる予定日の1か月前、夫が原因不明の脳炎で倒れ、意識が戻らない状態となってしまった。夫はなんとか意識を取り戻したものの後遺症が重く、自身が家族を支えていかなければならない状況となり、社会保険労務士を目指すことにしたわたしは…



#### 令和6年度日本年金機構理事長賞 受賞作品

あらすじ

母の癌の病気が悪化したため眼科を受診したところ、身体障害者二級相当だと判明した。新型コロナウイルスの影響でたまたまさえ家庭が経済的に厳しい状況にあり、高校へ進学することができないのか不安に感じていたところ、障害年金の受給資格があることを知り…



## 地域連携事業の取組内容⑤

### ○「ねんきん月間」・「年金の日」の取組

毎年、11月を「ねんきん月間」として、公的年金制度の普及・啓発活動を展開しており、11月30日（いいみらい）を「年金の日」として厚生労働省と連携し、国民の皆様へ公的年金制度を身近に感じていただき、公的年金制度に対する理解を深めていただくことを目的として、関係機関・団体へリーフレットの設置協力依頼や各年金事務所内においてポスターを掲示する等を実施している。

### ○「ねんきん月間」の取組

京都府内における「ねんきん月間」の取組は、年金セミナー、年金制度説明会、出張相談会を中心として行い、積極的に公的年金制度の普及・啓発・広報活動を実施した。

【年金セミナー】 5校 459人

【年金制度説明会】 5会場 75人

【社会保険労務士会：年金マスター研究会】 1会場 20人

【出張年金相談会】 3会場 22人

【年金委員研修・表彰式】 1会場 約100人

（詳細は、P18参照）

# 11月はねんきん月間

日本年金機構は厚生労働省と協力して、**公的年金制度の普及・啓発活動**に取り組みます。  
この機会に公的年金について考えてみませんか？

いいみらい  
11月30日は  
年金の日

## 日本年金機構の取り組み内容

セミナー・年金制度説明会・出張年金相談会を開催！



日本年金機構公式X(旧Twitter)・公式Facebookで年金制度について発信！



日本年金機構  
公式X(旧Twitter)



日本年金機構  
公式Facebook

年金セミナー動画や「わたしと年金」エッセイ優秀作品等を掲載した「ねんきん月間」特集ページを機構ホームページに開設！



その他、多数の企画を実施します。詳しくは、日本年金機構ホームページをご覧ください。

日本年金機構  検索  
<https://www.nenkin.go.jp/>

## 年金豆知識

国民年金保険料を納めるのが難しい場合は…

申請することで、保険料の納付が免除、または猶予される制度があります。保険料を納めないまま放置すると、年金を受け取ることができない場合があります。

“ねんきんネット”は年金記録や年金見込額を確認できるサービスです！

国民年金の加入月数や納付状況等の最新の年金記録をパソコンやスマートフォンから手軽に確認できます。また、持ち主のわからない年金記録も検索できます(亡くなられた方の記録も含まれます。)ぜひご利用ください!!

詳しくはこちら



<https://www.nenkin-net.jp/>

 **日本年金機構**  
Japan Pension Service

## ○「年金の日」の取組

### 【年金相談】

令和7年11月30日は日曜日でしたが、年金事務所・街角の年金相談センター等を開所し、年金相談を実施した。

### 【子ども絵画展・ねんきん教室】

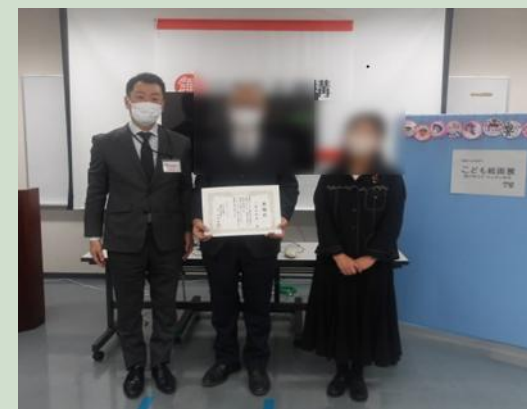
会場：舞鶴年金事務所

日時：令和7年11月4日（月）～11月30日（日）

出展：三鶴幼稚園 トーマス組

年金教室

表彰式



### 【子ども絵画展・ねんきん教室】

会場：イオンモールKYOTO

日時：令和7年11月28日（金）～11月30日（日）

出展：京都市立西院小学校  
永興京都駅みなみ子ども園

まめのき保育園  
南光会ひかり保育園

こども園ゆりかご  
こども園いしはら

塔南保育園  
随林寺保育園

松ノ木保育園

### 【オンラインビジネス勸奨】

会場：イオンモールKYOTO

日時：令和7年11月28日（金）～11月30日（日）

共催：上京税務署  
全国国民年金基金京滋支部

# 【年金セミナー事業】

次世代を担う若年層が正しい年金の知識を身に付け、公的年金制度が身近で重要なものであることに理解を深めていただくために、年金セミナー事業に積極的に取り組んでいる。

## 年金セミナー事業の取組内容①

### 【開催の協力依頼】

- 年金セミナーの開催に向け、年度当初に京都府教育委員会・京都市教育委員会をはじめとした各市教育委員会へ訪問し、協力依頼を行う。
- 京都府の教育機関に対して、各年金事務所より年金セミナー開催依頼と希望の有無についての文書を送付  
昨年度は、未回答の教育機関に対してアプローチを行わなかったが、本年度は電話等によるフォローアップを行った結果、年金セミナーの開催校が増加した。
- 年金推進員の活動  
教育機関職員のOBの年金推進員に、学校への訪問等により、年金セミナー開催の勧奨をお願いしている。令和7年度は3名の年金推進員が活動しており、年金セミナーの開催を獲得している。
- 講師の育成  
日本年金機構において、毎年、年金セミナー等の品質向上と講師の育成を目指し、年金セミナー・制度説明会王を実施しており、全国の年金事務所が参加している。令和7年度のテーマは、『中学生』を対象とした年金セミナーで、京都府予選では、京都西、中京の職員が代表に選ばれた。

### 《年金セミナー実施状況》

	大学・短大	専修学校	高等学校	中学校	小学校	計
令和5年度	0校	6校	7校	0校	0校	13校
令和6年度	5校	13校	15校	1校	2校	36校
令和7年度	8校	15校	16校	3校	4校	46校

※ 対面型、オンライン形式、DVD、YouTube等の視聴形式がある。また令和7年度は開催予定を含む。

## 年金セミナー事業の取組内容②



竹田小学校（京都市伏見区）の年金セミナー



関西語言学院（京都市伏見区）の年金セミナー



京都文教大学（宇治市）の年金セミナー

### 【年金セミナーの教材】

- 教材については、小学生用、中学生用、高校生用、大学生・専門学校生用、外国人向けと対象ごとに作成している。
- 今年度は、京都盲学校、京都聾学校においても、年金セミナーを実施しており、学生のニーズに応じた教材を作成した。
- 令和7年度から税務署と共同でセミナーを開催しており、現在はそれぞれの資料を使用しているが、税金と年金で共通部分の項目をお互いが説明できるような資料の作成を検討している。

## 年金セミナー事業の取組内容③

### 【総括】

年金セミナーの開催案内を文書で行うだけでなく、未回答の教育機関に対して電話等によるフォローアップを行った結果、年金セミナーの開催校が増加した。今後も継続してアプローチを進めていく。

令和7年度は、税務署との共同開催によるセミナー実施など、新たな取組も実施した。また、在留外国人の増加により、外国人への制度周知が課題となっており、日本語学校を中心にアプローチした結果、外国人学生を対象とした年金セミナーの開催と同時に学生納付特例申請書の取得を行うことができた。

また、小学生を対象とした年金セミナーも令和6年度と比べて2校増加しており、生徒の反応がとても良いので、今後も開催校の増加に取り組んでいく。

### 【課題】

英語を話せる職員は少なく、その育成も難しいことから、多言語の資料を予め準備し、事前に学校の先生に通訳のご協力をいただくなど、事前準備を充実させていく必要がある。また、今後、小学生や中学生に対する年金セミナーを増やしていくため、セミナー資料をさらに充実させていきたい。

### 年金セミナー開催学校（開催順）

【大学・短期大学】	【専修学校】	【高等学校】
京都医療科学大学	京都府立陶工高等技術専門学校	京都府立京都八幡高等学校【税務署共同開催】
京都光華女子大学	舞鶴YMCA国際福祉専門学校	平安女学院高等学校
京都文教大学	日産京都自動車大学校	京都共栄学園高等学校
京都文教短期大学	京都コンピュータ学院	京都府立西城陽高等学校
京都情報大学院大学	京都近畿情報高等専修学校	京都府立大江高等学校
京都経済短期大学	京都歯科医療技術専門学校	京都聖カタリナ高等学校
京都先端科学大学（太秦）	京都歯科衛生学院専門学校	京都府立久御山高等学校
京都先端科学大学（亀岡）	京都保健衛生専門学校	京都府立北桑田高等学校【税務署共同開催】
	京都公務員&IT会計専門学校	京都明德高等学校【税務署共同開催】
<b>【中学校】</b>	京都医療センター附属看護助産学校	京都府立福知山高等学校三和分校
京都向島秀蓮中学校	京都中部総合医療センター看護専門学校	京都府立工業高等学校
京都光華中学校	第一赤十字看護専門学校	京都府立丹後緑風高等学校網野学舎
京都文教中学校	京都第二赤十字看護専門学校	京都府立宮津天橋高等学校加悦谷学舎
	瓶井学園日本語学校	中央仏教学院【税務署共同開催】
<b>【小学校】</b>	関西語言学院	京都府立豊学校
京都市立竹田小学校		京都府立盲学校【税務署共同開催】
京都市立明德小学校		
京都市立山階小学校		
京都向島秀蓮小学校		



# 【地域年金相談事業】

## 地域年金相談事業の取組内容

### 【出張年金相談会】

年金事務所から遠隔地の市町に赴き、年金全般にかかる相談・受付窓口を開設する。

(参考) 令和6年度(令和6年4月～12月) : 実施回数 25回 相談人数 152人

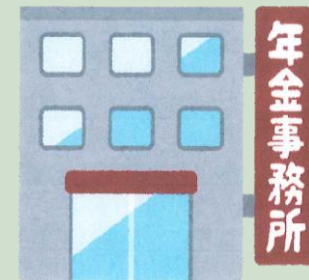
### 【国民年金納付相談会】

令和7年度(令和7年4月～12月) : 実施回数 20回 相談人数 866人(内677人は外国人学生)

### 【総括】

出張相談は、自治体の意向も踏まえつつ、地域住民の利便性とニーズを確認しながら実施する。

国民年金納付相談会は、増加する外国人学生に対応するべく、大学・日本語学校等と協力しながら、実施していく。



### 《令和7年度出張相談の内訳》(令和7年4月～12月)

	木津川市 (市庁舎北別館)	八幡市 (八幡文化センター)	福知山市 (市庁舎)	京都府北部地域 (峰山総合福祉センター)	合計
実施回数	4回	3回	9回	9回	25回
相談人数	38人	22人	50人	58人	168人

# 【年金委員活動支援事業】

## 年金委員活動支援事業の取組内容①

- ◆職域型年金委員：厚生労働大臣の委嘱を受けて、職場において、従業員へ年金制度の普及・啓発活動を行っている民間協力員
- ◆地域型年金委員：厚生労働大臣の委嘱を受けて、居住地域において、住民に対して年金制度の普及・啓発活動を行っている民間協力員

### 【意見交換会及び研修等の実施】

- ・ 京都府連絡会及び地区連絡会を令和7年6月19日、及び12月24日に参集で開催した。
- ・ 全国年金委員研修が令和8年1月19～20日に機構本部研修センターにて参集で開催され、京都府より職域型年金委員1名が参加した。
- ・ 年金委員功労者表彰式に併せて、職場のメンタルヘルスに関する研修会を実施し、約100名が参加した。

### 【情報提供】

年金委員（職域型・地域型）向け情報誌「ねんきんNEWS」を四半期ごとに発行した。

### 【委嘱数拡大の取組】

- ・ 職域型年金委員については、事業主への年金委員退職等に係る後任の方の推薦依頼、年金委員未設置事業所への複数回のダイレクトメールによる委嘱勧奨を実施した。
- ・ 地域型年金委員については、市区町村職員・教育機関関係職員を中心に委嘱を拡大した。

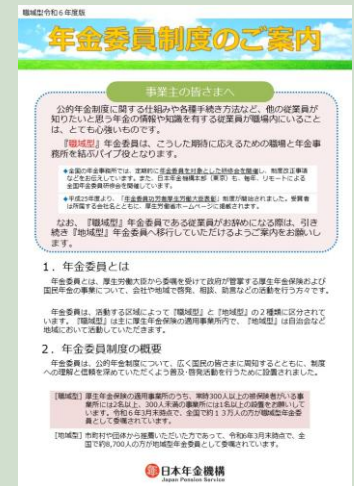
## 《年金委員数の推移》

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (7年12月)
職域型年金委員	1,692人	1,743人	1,827人	1,990人
地域型年金委員	120人	127人	127人	153人

### 【総括】

委嘱拡大については、職域型については人数規模ごとの年金委員未設置事業所、地域型については教育機関関係職員など、ターゲットを絞った集中的な取り組みを実施した結果、職域型・地域型ともに委嘱数が増加した。

今後も、年金委員を安定的に委嘱し、委員数を増加させ、適切なタイミングで、必要な情報を提供していく。



## 年金委員活動支援事業の取組内容②

### ○年金委員表彰の実施

【開催日】 令和7年11月12日（水）13：30～16：00

【開催場所】 T K Pガーデンシティ京都タワーホテル 9階飛雲

【表彰内容】 令和7年度 京都府年金委員・健康保険委員功労者表彰式

【表彰内訳】 厚生労働大臣表彰 1名、日本年金機構理事長表彰 2名、日本年金機構理事表彰 6名

### 【総括】

京都府年金委員・健康保険委員功労者表彰式は、「ねんきん月間」において、厚生労働省・全国健康保険協会京都支部と合同で実施し、京都府社会保険協会にも共催をいただいて開催した。また併せて、(株)バックテック代表取締役CEO福谷氏を招き『メンタルヘルスが育む！社員が輝く職場づくり』をテーマとした研修会を開催した。

### 【課題】

コロナ禍以降、全国健康保険協会京都支部と別々に表彰式を開催していたが、令和6年度以降は合同開催となっており、良かったと考えている。ただ、出席者が100名程度であり、より参加しやすい環境づくりのため、会場アクセスや開催時間、魅力的な研修会のテーマづくりなどの検討を進めていく。

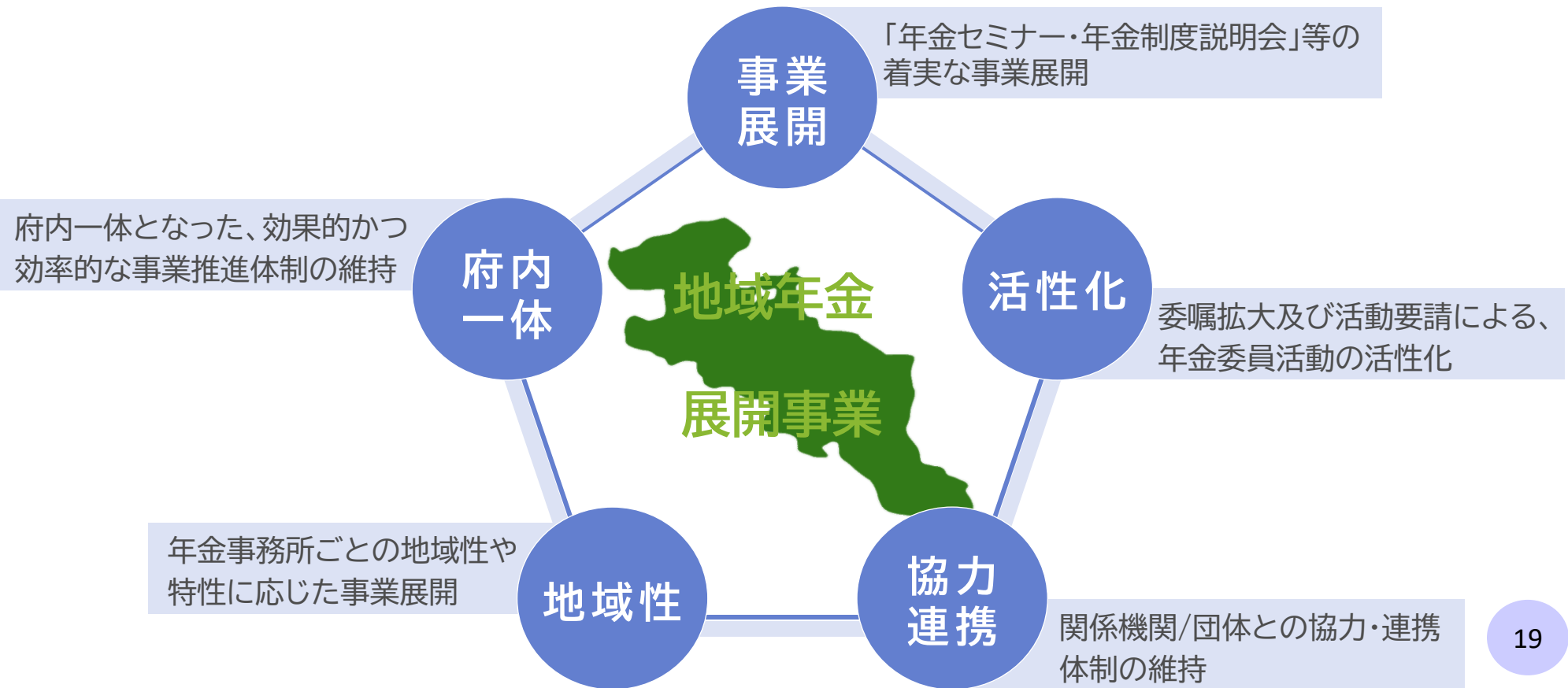


※写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。

# 令和8年度 取組方針・事業計画（案）

## 【取組方針】

地域住民の皆様の公的年金制度に対する理解をより深めるため、地域・教育機関・企業・関係団体等と協力・連携を図り、地域に根差した年金制度の普及・啓発活動を府内の年金事務所が一体となって推進し、年金制度の安定的な運営・国民年金保険料納付率の向上に努める。



# 令和8年度 取組方針・事業計画（案）

## 【事業計画】

### 地域連携事業

#### ① 関係機関・団体等と連携した取組

自治体・企業・関係機関・関係団体等の窓口リーフレット・ポスターの設置を依頼し、地域住民への情報提供の充実を図る。また、依頼を行うにあたっては、社内LANやホームページへの記事掲載についても協力を依頼する。関係団体等の職員に対しても、ねんきんネットを実際に体験していただき、内容、便利さを認知していただく。

#### ② 企業・団体に対する年金制度説明会（オンラインサービスの説明会）の開催

企業や団体に対して、年金制度や事務手続の説明会を開催し、制度の理解と届書の電子申請及びオンラインサービスの利用促進を図る。また、オンラインによる説明会を増やすことで、参加しやすい環境を作る。

#### ③ 「わたしと年金」エッセイ募集の取組

教育関係機関をはじめとして、学生・生徒・一般からの応募数増加に向けて積極的に広報を行う。

#### ④ ねんきん月間・年金の日の取組

厚生労働省と協力して、公的年金制度の周知・啓発活動を行う。年金の日においては、大規模商業施設等で、「ねんきんネット」などのオンラインサービス等に係る広報活動を行う。

# 令和8年度 取組方針・事業計画（案）

## 年金セミナー事業

学生・生徒等の若い世代が、年金制度の正しい知識や手続きに触れ、公的年金制度が身近で重要なものであることを理解いただくことは地域年金展開事業の核となる取り組みであるため、各種教育機関の協力をいただきながら年金セミナーを積極的に実施する。

また、セミナーの内容の充実と講師の人材育成に取り組む。

- ① 小中学生向け年金セミナーの拡大
- ② 外国人留学生への年金セミナーの拡大
- ③ 税務署との年金セミナー共同開催の充実
- ④ 大学や専修学校等へ年金セミナーの実施依頼及びリーフレット等の設置依頼
- ⑤ 地域年金推進員の活動支援の継続
- ⑥ 管轄にとらわれず京都府内年金事務所が一体となって協力し、安定した事業を展開する

## 地域年金相談事業

出張年金相談については、自治体の意向を踏まえつつ市町村や住民の皆様のニーズに応じて柔軟に対応する。

# 令和8年度取組方針・事業計画（案）

## 年金委員活動支援事業

年金委員は、職場・地域における公的年金制度の周知・啓発の重要な役割を担っており、委員活動の一層の活性化を図るとともに、委員活動が充実し円滑に行えるよう次の取り組みを行う。

### ① 職域型・地域型年金委員委嘱数の拡大

職域型年金委員については、年金委員未設置事業所に対し積極的に勧奨する。また、地域型年金委員については、市区町村職員・教育機関関係者の委嘱を強化する。

### ② 年金委員への適時適切な情報提供

「年金委員向け情報誌『ねんきんNEWS』」を四半期ごとに送付し、活動支援を行う。

### ③ 地域型年金委員連絡会・地区連絡会の開催

地域型年金委員連絡会・地区連絡会を定期開催し、地域型年金委員の活性化を図る。

### ④ 年金委員研修の実施

職域型年金委員の研修会を開催し制度の理解を深める。

### ⑤ 年金委員功労者表彰

「ねんきん月間」に年金委員活動の功労者について表彰を行う。

## 地域年金事業運営調整会議

令和9年2月に会議を開催し地域年金展開事業推進に関する意見・助言をいただく。